

氏名	曹 流
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第1419号
学位授与の日付	平成8年3月25日
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学（二）専攻 （学位規則第4条第1項該当）
学位論文題目	Homotypic cell aggregation via conformational change of CD44 molecule induced by anti-CD44 monoclonal antibodies (抗CD44分子抗体により誘導されたCD44分子構造変化の関与 する同種細胞間接着)
論文審査委員	教授 岡田 茂 教授 中山 睿一 教授 二宮 善文

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

接着因子は種々の免疫現象、腫瘍転移など血球-血管内皮 細胞間の相互作用のみならず、同種細胞間接着現象にも深く関与している。近年CD44に対する抗体で同種細胞間接着が誘導されることが知られており細胞の活性化に関わる現象として研究されているが、そのメカニズムはよくは知られていない。この研究では我々はCD44分子を認識する単クローン抗体TL-1を作成し、リンパ造血系細胞株、正常ヒト末梢血リンパ球に同種細胞間接着を誘導した。誘導された同種細胞間接着は、検索した抗CD44抗体のなかではヒアルロン酸結合部位と非認識部位を認識する各1種類の抗体によりブロックされたが、別の1種類の抗CD44抗体および他の接着分子に対する抗体ではブロックされなかった。フローサイトメトリーを用いた検索では、TL-1はCD44分子の発現量には影響せず、誘導された同種細胞間接着は他の抗CD44抗体でブロックされることから、CD44分子の構造変化により同種細胞間接着が起こったと考えられた。また、この構造変化はエネルギー依存性で、細胞内シグナルが関与することが推測された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究はCD44分子を認識する単クローン抗体TL-1を作成し、それがリンパ造血系細胞株正常ヒト末梢血リンパ球に同種細胞間接着を誘導することを見出したものである。免疫現象、腫瘍転移などに重要な意味をもつ接着現象について重要な知見を得たものであり、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。